

期 日：前期 2020年1月27日(月)～1月31日(金) ※8:00～18:30
 後期 2020年2月17日(月)～2月21日(金) (初日9:30集合/最終日17:00解散予定)

定 員：20名以内

参加費：〈定価〉910,000円 (内 宿泊費 175,000円) 〈税別〉
 〈会員〉700,000円 (内 宿泊費 175,000円) 〈税別〉
 ※業務都合などで半期での参加を希望される場合はご相談ください。
 ※宿泊は全員個室となります。

会 場：東レ総合研修センター
 〒411-0032 静岡県三島市末広町21-9
 TEL. 055-980-0333 / FAX. 055-980-0350
 HP https://www.toray.co.jp

※参加者が少数の場合および天災の場合などは、中止または延期する場合がございます。
 ※参加者のご都合により参加できない場合は、下記のキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
 開催14日前～開催前日 …………… 参加費の30% 開催当日 …………… 参加費の全額

(一社)日本産業訓練協会 業務部 (9月30日以降)

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル4階
 TEL 03-3527-1635 / FAX 03-3527-1636 / e-mail : jita@sankun.jp
 ※9月27日までは
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-17-3 渋谷アイビスビル
 TEL 03-3409-3551 / FAX 03-3409-7334 / e-mail : sankun@m08.alpha-net.ne.jp

振込銀行 (口座番号)
 三井住友 渋谷支店〈普通〉0920388
 三菱UFJ 渋谷支店〈普通〉0006359
 みずほ 渋谷中央支店〈普通〉1314935
 ゆうちょ 00110-1-90220

振込によるご送金につきましては、特にお申し出のない限り領収書の発行を省略させていただきます。

いままでにご参加いただいた主な企業

- アルプス電気 ●市光工業 ●オリンパス ●関東電気保安協会 ●川崎重工業 ●キャノン ●近畿車輛 ●神戸製鋼 ●国際自動車
- サッポロビール ●山九 ●新日本製鐵 ●ソニー ●大丸 ●大和総研 ●中部電力 ●デンソー ●東レ ●トーハン ●中村屋
- 日本経済団体連合会 ●日本航空 ●日本たばこ産業 ●日本ビルサービス ●日本無線 ●日本ユニシス ●日立国際電気 ●日立製作所
- 不二越 ●不二家 ●三菱スペース・ソフトウェア ●三菱電機 ●森精機製作所 ●山形屋 ●四電工 など多数(企業名は参加時点の社名)

キ リ ト リ 線 FAXまたはコピーをお送りいただいても結構です。

第136回 MTPインストラクター養成講座参加申込書

年 月 日

会社名		<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 一 般	
住 所	〒	電 話	
		F A X	
申し込み 担当者	(フリガナ) 氏 名	所属部署	
e-mail		役 職	

(フリガナ) 参加者氏名	年齢	性別	所属部署・役職	勤務先住所・電話番号
		男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>		〒 電話
		男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>		〒 電話

※ 参加者名簿作成のため、参加者の所属住所が申込担当者と異なる場合は、連絡先住所ならびに電話番号を必ずご記入ください。
 ※ 記載の個人情報は講座運営(名簿作成・配布、証書作成、受講書類作成・送付等)および当協会からのサービスの提供等の業務範囲に限定して利用させていただきます。

MTP-I

Management Training Program Instructor

第136回

働く人の総合マネジメント力養成コース

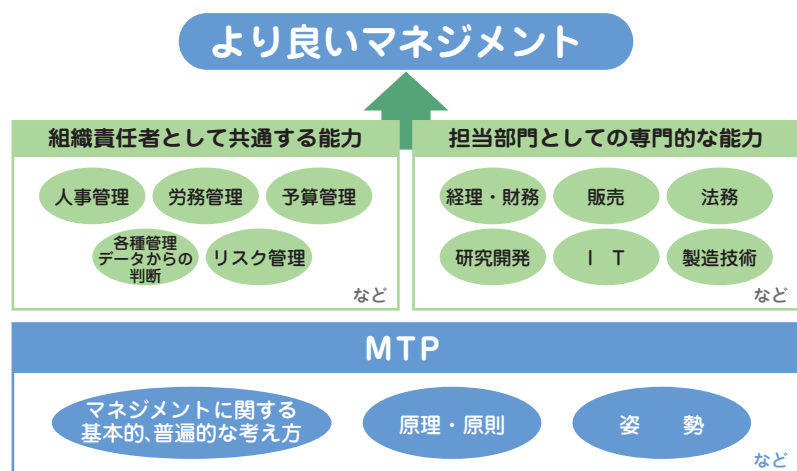
インストラクター 養成講座

管理者(マネジャー)に必要な基本的要素が網羅されている
 MTP研修を社内等で実施する場合の
 指導者を養成する研修です

MTPの特徴と概要

●MTPとは

戦後の1950年代米軍から提供されたテキストを当時の通産省(現経済産業省)と産業界が改良した「マネジメント(管理者)研修」です。組織の中で、指導的立場の者が必要な管理の基本を体系的に学べるプログラムです。



●社内インストラクターは

先輩社員だからこそ提供できる自社の情報があり、受講者との間で築かれる深い信頼の絆が、会社全体の組織の活性化を呼び起こします。社内インストラクターによる研修の実施が可能になるのがMTPの最大の特徴の一つです。

●何を学ぶのか

- 標準28時間で、マネジメント(管理)の基本を体系的に学ぶ。
- 組織の中で、仕事をどのように遂行して成果を上げるかを学ぶ。
- 組織の部下・メンバーとのコミュニケーション能力を高め、信頼を得ていく方法を学ぶ。
- 課題やハラスメントへの対処の基本を学ぶ。

●研修の方法は

- 受講者同士で意見を出し合い研究する「会議式訓練」が主体です。
- 職場で実際に起きている「事例」を題材にグループ討議・発表で進めます。
- 講師(インストラクター)は、知識の提供と受講者同士の意見交換を引き出します。

プログラムの構成

構成はⅥ部で、各部は「セッション」と「節」からなり、全体で14セッションです。標準の研修時間は28時間(7時間/日×4日間)です。14セッションは相互に関連していますので、順を追っての実施が望まれますが、各企業・組織における目標・目的や当面している課題に重点を置いて、組替えや短縮・延長も柔軟に対応することができます。

第Ⅰ部 マネジメントの基礎	第1セッション マネジメントの基本的考え方	第2セッション マネジメントと人間行動及び組織
第Ⅱ部 マネジメントプロセス	第3セッション 計画	第4セッション 指揮・命令(指示)
第Ⅲ部 問題解決とリスクマネジメント	第7セッション 問題解決の基本	第8セッション 仕事の改善の実践
第Ⅳ部 信頼関係の形成	第9セッション 欲求不満への対処と態度の啓発	第10セッション 人をめぐる問題の解決
第Ⅴ部 育成と啓発	第11セッション 育成の考え方	第12セッション メンバーの育成
第Ⅵ部 良いマネジメントの実現	第13セッション リーダーシップ	第14セッション マネジメントの展開

研修教材

- ①シート集(一般受講者用) : シート形式の研修テキストで、研究事例や解説、要点等を簡潔にまとめたものです。
- ②インストラクター用手引書 : インストラクターが研修講座を運営するためのマニュアルです。
- ③シート集(インストラクター用) : ①に講師用に追加シートを含むものです。(②と③はインストラクター有資格者のみが購入できます。)

インストラクター養成講座について

MTPはマネジメントの基本を学ぶことにより、組織が求める業績をあげ、目標を達成することが目的です。標準時間はありますが、企業・組織により重点的に求められるものが異なるわけで、研修の指導は実情に明るい組織内の者が適します。このため、日産訓では標準の公開講座とともに、社内インストラクター養成講座も実施しています。

●研修の目的

- ◆日産訓が認証する「MTPインストラクター資格」を取得する。
- ◆14のセッションを繰り返し実習することで「教える技術」を習得する。
- ◆合宿研修により交流を深め、異業種・社外の人的ネットワークを広げる機会とする。

●対象者

企業・組織等で多数の管理者を育成する、講師・指導者を目指す方が対象です。人事研修部門の部長・課長等の管理職に止まらず、社長はじめ経営者、製造・販売・研究企画等の部門長、社労士、経営コンサルタントの参加もあります。

●研修の方法

前期と後期の各5日間合計10日の期間で、MTPを自らが指導できるまで、繰り返し実習します。

具体的には、



●プログラム

インストラクター養成講座は合計10日間で、前・後期に分けて行います。研修は実習が中心となり、参加者が相互に研鑽しあって進めていきます。会場は、三島の東レ総合研修センターです。研修の開始から、終了までのすべての費用は参加費に含まれており、参加者には原則として往復の交通費のみを別途ご負担していただけます。

MTP-I 日程表

呈示 コンダクターによる教え方の実演 実習 参加者による教え方の実演

		第1日目(月)	第2日目(火)	第3日目(水)	第4日目(木)	第5日目(金)
前期	午前	開講式 導入・会議指導法説明 第1セッション 呈示	第2・3セッション 呈示	第4セッション 呈示(続き) 実習2 第5セッション 呈示	第6セッション 呈示(続き) 実習4	実習5・6
	午後	第1セッション 呈示(続き) 実習1	第4セッション 呈示	実習3 第6セッション 呈示	実習4(続き) 第7セッション 呈示	実習7・8
後期	午前	後期クラス導入 第8セッション 呈示	第10セッション 呈示 実習9	実習10(続き)	第13セッション 呈示 実習13	実習15・16
	午後	第9セッション 呈示	実習9(続き) 第11セッション 呈示 実習10	第12セッション 呈示 実習11・12	第14セッション 呈示 実習14	実習17